

(日表の解説)									
欄の名称	単位	最小位	内容						
観測時刻			日本中央標準時の24時制による。						
気圧	現地	hPa	0.1 毎正時の現地気圧の値。 現地気圧：各气象台、測候所及び特別地域気象観測所における観測値。						
	海面	hPa	0.1 毎正時の海面気圧の値。 海面気圧：現地気圧を平均海面上における値に校正したもの。						
気圧変化	hPa	0.1	3時間前との気圧の差。型については、一般的でないため、説明は省略。						
気温	℃	0.1	毎正時の気温の値。値が0℃未満の場合は「-」の符号を付ける。 観測地点における地上約1.5mの高さの気温を示す。						
露点温度	℃	0.1	毎正時の露点温度の値。値が0℃未満の場合は「-」の符号を付ける。						
蒸気圧	hPa	0.1	毎正時の蒸気圧の値。						
相対湿度	%	1	毎正時の相対湿度の値。						
風向	16方位	毎正時の前10分間の平均風向を英文字符(大文字)で示す。 ただし、風速が0.2m/s以下のときを静穏といい、風向は「-」とする。							
		北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東
		N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE
		南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西
風速	m/s	0.1	毎正時の前10分間の平均風速の値。						
日照時間	時間(h)	0.1	毎正時の前1時間の日照時間の値。 日照なし及び0.1hに満たない場合は「現象なし(-)」とし、夜間は空欄とする。						
全天日射量	MJ/m ²	0.01	毎正時の前1時間の全天日射量の値(全天日射計設置官署のみ)。夜間は空欄とする。						
降水量	mm	0.5	毎正時の前1時間の降水量の値。 例：12時の降水量とは、11時から12時の1時間に降った降水量である。 降水があっても降水量を0.5とするに足りない場合は、0.0とする。 降水が全くない場合は「現象なし(-)」とする。						
降雪の深さ	cm	1	積雪の深さの前1時間差の値(積雪計設置官署のみ)。						
積雪の深さ	cm	1	毎正時の積雪の深さの値(積雪計設置官署のみ)。						
現在天気			一般的でないため、説明は省略。						
天気	3、6、9、12、15、18、21時の天気を記号で示す。記号については以下のとおり。								
	○：快晴	☁：砂じん嵐	☂：みぞれ						
	⊙：晴れ	↑：高い地ふぶき	✖：雪						
	⊕：薄曇り	☁：霧	△：あられ						
	⊗：曇り	●：霧雨	▲：ひょう						
	∞：煙霧	●：雨	⚡：雷						
大気現象	3、6、9、12、15、18、21時の大気現象を記号で示す。記号については以下のとおり。								
	●：雨	☁：地霧	∇：樹氷	☁：砂じん嵐					
	～：着氷性の雨	☁：氷霧	∇：粗氷	☁：じん旋風					
	●：霧雨	☁：もや	～：雨水	⊕：日のかさ					
	～：着氷性の霧雨	↑：地ふぶき	☁：積雪	☾：月のかさ					
	✖：雪	↑：低い地ふぶき	☁：結氷	⊙：日光冠					
	☂：みぞれ	↑：高い地ふぶき	：竜巻	☾：月光冠					
	✖：雪あられ/氷あられ	↑：ふぶき	∞：煙霧	☁：彩雲					
	△：霧雪	☁：しぶき	☁：ちり煙霧	☾：にじ					
	△：凍雨	☁：露	☁：黄砂	⚡：雷電					
	△：氷あられ	☁：凍露	☁：煙	☁：雷光					
	▲：ひょう	☁：霜	☁：降灰	T：雷鳴					
	→：細氷	☁：霜柱	☁：風じん	P：降水現象					
	☁：霧	☁：霧氷	☁：低い風じん						
	☁：低い霧	☁：樹霜	☁：高い風じん						
	(注) しゅう雨性降水の場合は、記号∇を用いて、☁、☁等のように表す。								
	視程	km	0.01	水平方向の見通せる距離					

全雲量	10 分比	1	3、6、9、12、15、18、21 時の全天空のうち雲に覆われている部分の割合。 0～10 までの整数で表す。 ただし、雲量 10 の場合であっても、雲がない部分がある場合は 10 とする。 また、雲量 1 に満たない場合は 0 とする。
雲の状態			一般的でないため、説明は省略。
個々の雲			一般的でないため、説明は省略。
記事欄			目視観測による観測記録を記事として記載したもの。降水現象、視程障害現象、雷現象、霜・結氷、その他の現象について、観測時刻や前 1 時間内の変化などを記録する。 例 1) 0930●—前 1220 ✕—前 1440●— 9 時 30 分に雨が降り始める。12 時 20 分には雪に変化していたことを確認。12 時 20 分には雨に変わっていたことを確認し、その後も継続。 例 2) 1105 $\mathbb{R}^0_{(NW10\sim20)}$ - $T^0_{(NW10\sim20)12}$ -1255. 11 時 05 分に雷電を観測。強度は 0、方向は北西、距離は 10 から 20km。12 時の観測時には雷鳴があり、強度は 0、方向は北西、距離は 10 から 20km。12 時 55 分に雷の観測は終了。
天気概況			昼 (6 時から 18 時) または夜 (18 時から翌日 6 時) の間の天気の変化状況を簡潔に表現したもの。

(用いた資料)

地上気象観測原簿